

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成28年3月24日 (2016.3.24)

【公表番号】特表2015-517026(P2015-517026A)

【公表日】平成27年6月18日 (2015.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2015-039

【出願番号】特願2015-501642(P2015-501642)

【国際特許分類】

C 2 2 C 33/02 (2006.01)

B 2 2 F 3/14 (2006.01)

B 2 2 F 3/20 (2006.01)

C 2 2 C 45/02 (2006.01)

C 2 2 C 45/10 (2006.01)

B 2 2 D 17/00 (2006.01)

【 F I 】

C 2 2 C 33/02 E

B 2 2 F 3/14 D

B 2 2 F 3/14 1 0 1 B

B 2 2 F 3/20 C

C 2 2 C 45/02 Z

C 2 2 C 45/10

B 2 2 D 17/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年2月4日 (2016.2.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バルク金属ガラス (B M G) を含む原料を製造する方法であって、粉末を圧密する工程を含み、

___前記粉末が、前記 B M G の元素を含み、前記粉末中の前記 B M G の前記元素が、前記 B M G のものと実質的に同じ重量パーセントを有し、

___前記粉末は結合剤と共に圧密され、

___前記結合剤は、前記 B M G の前記元素の 1 つ、又は、前記 B M G の複数の元素の複合体である、方法。

【請求項 2】

前記粉末が、___粉末状の前記 B M G を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記粉末が、前記 B M G の複数の元素の複合体を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記粉末が、前記 B M G の複数の元素の合金を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記結合剤が、前記粉末の融解温度で蒸発する材料である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記粉末がシース内に圧密され、前記シースは前記粉末の融解温度で溶融しない、請求

項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

B M G を含む原料を製造する方法であって、粉末をシース内に圧密する工程を含み、
前記シースが、前記粉末の融解温度で溶融し、
前記粉末及び前記シースが合わせて前記 B M G を含み、
前記粉末中の前記 B M G の元素が、前記 B M G のものと実質的に同じ重量パーセントを有し、
前記粉末は結合剤と共に圧密され、
前記結合剤は、前記 B M G の前記元素の 1 つ、又は、前記 B M G の複数の元素の複合体である、方法。

【請求項 8】

前記粉末が粉末状の前記 B M G を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記粉末が、前記 B M G の複数の元素の複合体を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記粉末が、前記 B M G の複数の元素の合金を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

前記結合剤が、前記粉末の融解温度で蒸発する材料である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記粉末が、ホットプレス、コールドプレス、押出成形、又は急速放電焼結により圧密される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記粉末が、ホットプレス、コールドプレス、押出成形、又は急速放電焼結により圧密される、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 14】

B M G を含む原料から部品を製造する方法であって、
前記部品の望ましい組成の各元素の重量が、粉末中の前記 B M G の元素の重量に本質的に等しくなるように、前記部品の重量及び前記望ましい組成に基づいて、前記粉末の重量及び組成を決定する工程と、
前記原料を形成するために前記粉末を圧密する工程と、
を含み、
前記粉末が結合剤と共に圧密され、
前記結合剤は、前記 B M G の前記元素の 1 つ、又は、前記 B M G の複数の元素の複合体である、方法。

【請求項 15】

B M G を含む原料から部品を製造する方法であって、
前記部品の望ましい組成の各元素の重量が、粉末中及びシース中の前記 B M G の元素の合計重量に本質的に等しくなるように、前記部品の重量及び前記望ましい組成、並びに、
前記シースの重量及び組成に基づいて、前記粉末の重量及び組成を決定する工程と、
前記原料を形成するために前記粉末をシース内に圧密する工程と、
を含み、
前記粉末は結合剤と共に圧密され、
前記結合剤は、前記 B M G の前記元素の 1 つ、又は、前記 B M G の複数の元素の複合体である、方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0063

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0063】

図 3 に示す一実施形態において、粉末が圧密されて原料が形成される。この粉末は B M G の元素を含み、粉末の元素は、B M G のものと同じ重量パーセントを有する。この粉末は、粉末形状の B M G を含み得る。この粉末は、B M G の複数の元素の複合体又は合金を含み得る。この粉末は、結合剤と共に圧密され得る。結合剤は、粉末の融解温度で蒸発する材料、B M G の元素の 1 つ（例えば B M G が S n を含む場合、S n 粉末は結合剤として機能し得る）、又は、B M G の複数の元素の複合体若しくは合金であり得る。一実施形態において、粉末はシース内に圧密されて原料を形成し、このシースは粉末の融解温度で溶融しない。